

資料 3

目標達成のための具体的な取組みの進捗状況

説明		23年度計画	23年度実施状況	病院組合の 自己評価	委員会評価	
医師確保対策	医師修学資金貸与 医学生の確保、定着促進	医師修学資金の新たな貸与医学生を確保する。 〔募集人員〕各学年3名程度	新たに4名の医学生に貸与を開始し、6学年全体で20名の医学生を確保した。 ※貸与医学生の状況 6年生 2名 5年生 2名 4年生 7名 3年生 3名 2年生 2名 1年生 4名 合計 20名	○		
		医師修学資金貸与医学生のうち卒業見込者2名を研修医として豊岡病院で受入れる。	2名全員を研修医として豊岡病院に受入れた。 ※研修医等の状況 専攻医(2年目) 1名 専攻医(1年目) 1名 研修医(2年目) 2名 研修医(1年目) 2名 合計 6名			
	医師のキャリアアップ支援	医師の豊岡病院組合への定着を図るため、医師のキャリアアップへの支援を行う。	医師の学会専門医、認定医取得にかかる経費を助成し、継続して支援する。	平成23年度19件 (平成22年度は17件)	△	
		医師が所属する学会の年会費を助成し、継続して支援する。 (医師1人につき1学会)	平成23年度57件 (平成22年度は44件)			
医師の業務軽減	医師の労働環境を改善し、豊岡病院組合への定着を図る。	医師事務作業補助者を増員して配置する。	4月に17名から33名に増員し、医師事務作業補助加算1.5対1を取得した。医師からの要望により6月には37名へ更に増員した。 〔豊岡病院の救急当直の専任化〕 平成22年度から救急当直を専任化して各診療科の医師の負担を軽減しているが、救急医を増員(9名→13名)して救急科医師の負担軽減も図った。	○		
業績に対する評価・報奨	業績(診療成績等の類似病院比較、改革プラン比較、過去3年間の平均との比較の11項目のポイント制)を病院毎に評価し、医療備品の購入に使える予算(総額1,300万円程度)を配分し、意欲を高める。	業績評価に伴う報奨制度を継続して実施する。	業績評価報奨制度を継続して実施した。また、病院のニーズに応じて有効に執行できるよう、翌年度の執行を可能とする運用に変更した。 平成23年度報奨額 合計15百万円	○		

説明		23年度計画	23年度実施状況	病院組合の 自己評価	委員会評価
収入向上対策	DPCの効率的運用	豊岡病院で平成20年7月に導入したDPC入院算定を継続して行う。	DPCによる入院算定を継続 出来高払いと比較した場合の収入増：328百万円 ※平成22年度の効果額：285百万円	○	
	新たな施設基準の取得	新たな施設基準を取得し、収益の確保に努める。	医師事務作業補助体制加算（15対1） 抗悪性腫瘍剤処方管理加算 埋込型心電図検査、埋込型心電図記録計移植術及び摘出術 効果額：28.6百万円	○	
	組合外加算の見直し	平成20年12月に改正した加算料金を継続して徴収する。 〔加算料金〕 ・非紹介患者加算3割加算 ・時間外加算3割加算 ・室料差額加算3割加算 ・分娩介助料加算12千円加算 ※計画：29.5百万円	各加算額に基づいて徴収した。 H23年度：43.3百万円	○	
	未収金の発生率の抑制及び未収金の回収率の向上	未収金の短期回収による発生額の抑制に努める。	「未収金防止・回収マニュアル」により取組みを強化し、1年以上入金滞った焦付未収金の発生額は22年度より35.6%減少した。 〔焦付未収金の発生額〕 平成21年度 平成22年度 平成23年度 2,140千円 ⇒ 2,352千円 ⇒ 1,539千円	○	
	有料広告の募集	広報誌とホームページへ広告を掲載する。 効果額：1.3百万円	ホームページへの広告掲載も行っているが、収入が目標額には届いていない。 平成23年度広告収入：0.3百万円	△	

説明		23年度計画	23年度実施状況	病院組合の 自己評価	委員会評価	
医療機能 向上対策	病診連携・病病連携の強化促進	必要に応じて、患者を診療所から地域の核となる病院に紹介することにより高度な検査や医療を提供し、快方に向かった患者は元の診療所で診療を継続（逆紹介）するしくみの強化	改革プランに示した年度数値目標を達成する。 [数値目標] 紹介率：49.3% (想定：42.2%) 逆紹介率：27.6%	紹介率：34.8% → 未達成 逆紹介率：30.0% → 達成 逆紹介率は昨年度より上回ったものの、紹介率は昨年度よりも下回り、目標は達成していない。 (H22：紹介42.1%、逆紹介率28.6%)	△	
	7対1看護の効率的な運営推進	看護職員1名が受け持つ患者を現在の10人から7人とし、手厚い看護を実施する。豊岡病院で実施。	平成23年1月より10対1看護に変更している施設基準について、再度7対1看護に戻すために必要な人員の確保に努める。	新規採用者数が退職者の補充人員確保にとどまっており、7対1看護に必要な看護師の増員が困難な状況である。引き続き県内外の看護学校等への周知を行い、必要な人員の確保に努める。 ※7対1から10対1への変更による収入減の一方、救急科で救命救急入院料等の特定入院料加算を取得している。	△	
	クリティカルパスの推進	標準化された治療スケジュールを予め患者へ提示することにより、患者や家族の治療への理解が促進される。	継続してクリティカルパスの開発促進に努める。	平成23年度運用パス 116種類 (平成22年度は105種類)	○	
	連携パスの推進	施設間のクリティカルパスで、現在国により、脳卒中と大腿骨頸部骨折のパスが認定されている。	平成21年度に開発した脳卒中連携パスの活用を継続する。	13件の症例において活用した。	○	
	病院機能評価の受審とフォローアップ	第三者機関の実施する病院機能評価を受診することにより、病院の弱点を把握し、改善に繋げることができる。(5年毎に実施)	平成23年度は和田山医療センターが更新時期にあたる。	受審にともなう業務量と医師をはじめとしたスタッフの状況を考慮し、平成23年度の更新は見送ることとした。しかし、前回受審時の機能については保っている。	△	
経費削減対策	競争原理の働くような契約方法等の見直し	従来慣例に拘らず、契約方法を見直し、経費の削減を図る。	スケールメリットを最大限に活かす5病院の統一契約について、対象の拡大を検討していく。	・看護師ユニフォームの統一：7百万円/年費用削減 ・寝具契約見直し：4.6百万円/年費用削減 ・検査委託契約見直し：10百万円/費用削減 ・病室TV契約の統一：4百万円/年収益増 効果額：25.6百万円	○	
	診療材料購入の外部委託化の検討・実施	医業費用の3割を占める診療材料の経費を削減するための方法を検討・実施する。	豊岡病院で導入した物流管理の外部委託化を随時他病院にも拡大し、スケールメリットを生かして診療材料費を削減する。 削減効果額：10百万円	平成23年度から出石医療センターの外部委託化を行った。 削減効果額：28百万円	○	

説明		23年度計画	23年度実施状況	病院組合の 自己評価	委員会評価	
経費削減対策	適正な人員配置による委託化・臨職補充	退職者不補充（委託化・臨職化）により、人件費を抑制する。	適正な人員配置による効率化に努める。	直接医療に携わる職種を増員配置し効率化を図った。 医療社会事業士：1名増員（豊） ※事務職員の削減。 平成22年度末74名→平成23年度末72名 △2名	○	
	業務委託の推進	効率化できる業務の委託を推進する。	豊岡病院で外部委託化した物流管理業務について、診療材料を基本とした外部委託を他病院でも取り組む。	出石医療センターで診療材料についての物流管理を外部委託化した。 ※平成24年度には残り3病院でも実施	○	
	後発薬品の使用率の向上促進	先発薬品から後発薬品に切り換えることにより薬品費の削減を図る。特にDPC（包括診療報酬制度）で効果が大きい。	前年度の後発品購入比率以上を目標数値とする。 22年度：6.91%	化学療法の増加により、全体の薬品費が増加する中、23年度の後発品購入比率は5.61%で、22年度と比較して1.3%下回った。	△	
	適正な給与体系の検討	国、県、構成市との給与等の比較検討を行い、適正な給与体系とする。	人事院勧告に準拠した改正を実施する。	人事院勧告に準拠した引き下げを実施した。 ・給与改定：0.23%引き下げ ・期末手当、勤勉手当は前年度据置	○	
経営意識向上対策	BSCの推進と情報共有化	BSC（バランスト・スコア・カード）とは、地域・利用者・仕事・人材などの視点から経営戦略を日常業務へ落とし込むことを特徴とした経営ツール	BSC（バランスト・スコア・カード）を推進することにより情報の共有化を図る。	BSC（バランスト・スコア・カード）は未実施である。 ※各病院の看護部では成果指標にBSCの視点を用いた目標管理制度を実施している。	×	
	全職員での経営改善への取組（ワンコイン作戦）	収入向上対策・経費削減対策に上げられていること以外で、職員のひとり一人が1日500円分の経営改善へ取組、心構えを持って業務に当たる。	経営改善に対する職員の意識の醸成に努め、経費削減に向けた取組を展開していく。	各病院の会議で経営状況を報告し、所属長を通じて各職員への周知を図り、経営意識の向上に努めているが、引き続き十分な周知と経費削減に向けた取組を展開していく。 具体的な取組策：節電、階段利用の啓蒙、裏面コピー等	△	

説明		23年度計画	23年度実施状況	病院組合の 自己評価	委員会評価	
広報及び 連携対策	ホームページの充実	病院組合の情報戦略の一環として、ホームページの充実を図る。	組合内5病院のホームページの統一的な運用により更なる充実を図る。	平成23年6月から看護師募集サイトを新規で追加し、看護師確保策の一つとして情報発信に取り組んでいる。	○	
	「ほすびたる」「FMジャングル」等による積極的な情報提供等	病院組合の情報戦略の一環として、各種媒体を利用して市民への情報提供を図る。	広報紙ほすびたるやFMジャングルを活用して、情報提供に努める。	ほすびたるを隔月発行して情報提供に努めた。FMジャングルについてはスポット対応での活用を基本としており、23年度の活用はなかった。	○	

×：取組が不十分であり、著しく遅れている。

△：取組が不十分であり、やや遅れている。

○：計画を上回って進んでいる。